

正しい情報をキャッチ

パソコン・スマートフォンから

●避難所一覧は

「神奈川県 指定避難所」

http://www.pref.kanagawa.jp/docs/j8g/bousai/1_7748_9_8.html

●地震や津波による被害想定図、県の施設などの地図情報は「e-かなマップ」

<https://www2.wagmap.jp/pref-kanagawa/Portal>

●避難所の地図情報は

「Googleマップ」

<https://maps.google.co.jp/>

●洪水や土砂災害に関する備えや、発災時に確認する情報は「洪水や土砂災害に備えよう」

http://www.pref.kanagawa.jp/docs/j8g/bousai/1_3244_9_12.html



焦らず適切な行動を!

Q オフィスなどの建物の中にいたら

A ・建物自体が安全な場合は、しばらくその場にとどまり、正しい情報を収集しましょう。

Q エレベーターの中にいたら

A ・行き先階ボタンを全部押して、最初に停止した階で降ります。
・止まってしまったら、非常用連絡ボタンを押し、救助を待ちます。
・避難に使用するのはやめましょう。

Q 自動車を運転中だったら

A ・ハザードランプを点滅させて、徐々に減速、左側に寄せて停車します。
・キーはつけたままドアロックせずに避難します。
・カーラジオで情報を得ます。

谷折り

山折り



神奈川県

折りたんで必携!!

かながわけんみん 防災カード



日頃の備えで災害から「いのち」を守ろう!

災害用伝言ダイヤル「171」

災害用伝言板

伝言を録音するとき

伝言を再生するとき

171 + 1 + 被災地内の固定電話の番号
携帯電話・PHSの番号

171 + 2 + 被災地内の固定電話の番号
携帯電話・PHSの番号

- ①「171」をダイヤルします。
- ②音声案内に従い、「1」をダイヤルします。
- ③自分の安否について家族や知人が聞ける可能性の最も高い電話番号(例えば自宅の電話番号)を必ず市外局番(0XX-XXX-XXXX)から順にダイヤルし、音声案内にしたがって安否等のメッセージを録音してください。

- ①「171」をダイヤルします。
- ②音声案内に従い、「2」をダイヤルします。
- ③連絡を取りたい相手先の電話番号を必ず市外局番(0XX-XXX-XXXX)から順にダイヤルしてください。

※体験利用可能日 ・毎月1日、15日
・正月三が日

・防災週間(8月30日~9月5日)
・防災とボランティア週間(1月15日~21日)

NTTドコモ
docomo



<http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi>

KDDI
au



<http://dengon.ezweb.ne.jp/>

ソフトバンク
SoftBank



<http://dengon.softbank.ne.jp/>

Rakuten
Mobile



<https://public-safety.mobile.rakuten.co.jp/>

警戒レベル4「避難指示」までに必ず全員避難

令和3年5月20日から避難勧告は廃止されました。警戒レベル4「避難指示」までに危険な場所から全員避難しましょう。

大雨や台風から命を守る

大雨や台風に対しては、「自らの命は自らが守る」という意識を持つことが重要です。

①平時からハザードマップ等を確認し、早め早めの安全確保行動を取るようにしましょう。

②大雨や台風になった際は、市町村や気象庁などから発信される情報をもとに、早めの避難を心がけましょう。これらの情報が発信されていなくても、危険を感じる場合は、自らの判断で避難しましょう。



神奈川県雨量水位情報システム

検索

弾道ミサイルの落下に備えて

- 屋外にいる場合
近くの建物の中か地下に避難する。
- 建物がない場合
物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。
- 屋内にいる場合
窓から離れるか、窓のない部屋に移動する。

ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、防災行政無線でサイレン音とともにメッセージを流します。

また、緊急速報メール等により緊急情報をお知らせします。



国民保護ポータルサイト

検索

家族との待ち合わせ場所

広域避難場所となる公園等

避難所となる学校等

持病・アレルギー・常備薬など

家族で決めたことをメモしておこう!!



徒歩での帰宅経路を確認しよう

- 町並みを記憶
- 危険箇所の把握
- 昼と夜の風景の変化
- 迂回路の検討
- 利用可能施設(休憩場所など)の確認
- 人が集中し混乱する場所を避ける



災害時帰宅支援ステーション



水道水、トイレ、道路情報の提供など、災害時の帰宅をサポートします。

防災用品を備えよう!

一次持出品

◆避難するときに最初に持ち出すもの。

- 貴重品
現金(小銭も)、通帳類、証書類、身分証明書、健康保険証、免許証、マイナンバーカード、印鑑等
- 携帯ラジオ
小型で軽く、FMとAM両方聴けるもの。予備電池も多めに用意する。
- 救急薬品
ばんそうこう。ガーゼ、包帯、消毒、薬等
持病のある人はおくり手帳も忘れずに。
- 非常食、飲料水
カンパンや缶詰等、火を通さなくても食べられるもの。
- その他
下着、上着、携帯電話(バッテリーも)、懐中電灯等、このカード

二次持出品

◆災害復旧までの数日間を自活するためのもの。
◆最低三日分、できれば1週間分を用意。

- 食料
そのまま食べられるか、簡単な調理で食べられるもの。
- 水
飲料水は大人一人当たり1日3リットルが目安。生活用水の確保も。
- 燃料・その他
卓上コンロ・固形燃料、携帯トイレ、トイレ用ペーパー、生理用品等



女性10kg、
男性15kgが
目安!



あなたのお家は大丈夫?

昭和56年以前に建てられた比較的古い木造建築の場合は、積極的に専門家の耐震診断を受け、必要があれば早めに改修しましょう。何気なく置いている家具や家電も、ひとたび地震が発生すると倒れてくる危険性があります。

- 大型の家具や家電に、転倒防止器具を取り付けている
 - 出入口や通路にものを置かない
 - ガラスに飛散防止フィルムを貼っている
 - 地震発生時にブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める感震ブレーカー等を設置している
- また、自宅のブロック塀についても、地震発生時に倒れることのないよう、安全確認をしておきましょう。



神奈川県 住宅の耐震化

検索

地震がおこったら あわてず あせらず

①DROP! ②COVER! ③HOLD ON!



(提供: 効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議)

「かながわシェイクアウト」
については県ホームページから



かながわシェイクアウト

検索



津波からいのちを守る

強い揺れや、長い時間の揺れを感じたら、すぐに高台や津波避難ビルなどの避難場所に避難しましょう。



日本ライセービング協会提供

津波からの避難を呼びかける旗(津波フラッグ)



津波の図記号(津波注意)



津波避難場所



津波避難タワー